

第 52 回電子情報化委員会 議事録

日時：2012 年 10 月 1 日（月）15:00～17:30

場所：JCI 12F 会議室

出席者：中村委員長，八十島幹事，浅本，甲斐，田所，三木，吉岡の各委員
（事務局）井上，戸口

資料

52-0：電子情報化委員会（第 52 回）議事次第

52-1：第 51 回電子情報化委員会議事録（案）

52-2：JCI メールニュースフォーマット

52-3：会員専用ページの利用者数

52-4：専門家向けコンテンツの開設について

52-5：改定版 JCI ホームページの表紙

52-6：年次論文集の CiNii 掲載に関する覚書および申合せ

52-7-1：年次大会査読システム提案のヒアリング報告

52-7-2：Editorial Manager における投稿審査フロー

52-7-3：年次大会を Editorial Manager で運用いただくにあたり

議事

1. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料 52-1）
 - ・ 第 51 回議事録（案）の内容が確認された。
2. メールニュース登録者数および会員専用ページ利用数の確認（事務局，八十島幹事，資料 52-3）
 - ・ 現状のメールニュース登録者数 6912 名（会員 2920 名，非会員 3992 名）。前回委員会のときより約 900 名増。主に技士研修会によるものである。ただし，配信されていない登録者数が約 800 名程度含んでいる。
 - ・ 会員専用ページ利用者数は 1773 名で，前回委員会のときから 150 名程度の微増である。
3. メールニュースについて（資料 52-2）

八十島幹事より，コンクリート工学論文集の公開案内メールニュースのフォーマットについて説明があった。

 - ・ 正会員の会員情報（メールアドレスを含む）を確認するためのアンケート用紙は，次年度の請求書送付のときに同封する予定であることが事務局から報告された。
 - ・ 会員情報のシステムからメールニュース配信システム（ブレインメール）に登録する必要があるが，csv ファイルによる一括登録が可能であるため，登録作業としては問題ない。
 - ・ ACT についても論文公開の案内メールを配信したほうがよいと考えられるため，ACT 編集委員会に打診する。
 - ・ 月例メールニュースの内容について，現状のフォーマットは少し長いため，もっとコンパクトにして必要な情報だけを得やすい形式に改善する。（担当：高橋委員）

4. 会員専用ページ（吉岡委員，資料 52-4）

吉岡委員より，専門家向けコンテンツの開設に関する諮問書について説明があった。

- 基本技術調査委員会の十河委員長からは，内容について異論はなく，成果を提供することを検討するという前向きな返事であった。
- 段取りとしては，まず 10 月末の会長会議で審議し，11 月の理事会にかける予定である。
- 年次大会時の特別委員会報告会の録画については，10 月上旬ごろから配信予定である。
- 研究委員会の報告会や年次大会の講演イベントなどの動画配信（録画アーカイブ）について，方法・機材・費用について検討する。（担当：田嶋委員）
- 例えば，研究委員会報告会の動画配信方法として，はじめの委員長挨拶や活動内容の総括部分のみを配信するやり方が考えられる。

5. JCI ホームページの改定（八十島幹事，資料 52-5）

八十島幹事より，改定版のトップページについて説明があった。

- コンクリート工学論文集が電子化され，J-STAGE で閲覧可能であることや，継続的に周知させる案内などは，トップページの中央カラムで長期間にわたって情報を出し続けることが必要である。
- トップページにある構造物の画像について，ポップアップなどを利用した説明が必要だろう。
- 今後，改定作業を進めていき，年内までにリニューアルを完成させる予定である。

6. 年次論文集の電子化について（資料 52-6）

事務局から資料の説明があった。

- CiNii への掲載が認められ，30 巻までは紙媒体を提出し，それ以降は CD-ROM 版を差し出す。
- なるべく書き込みのない過去の年次論文集が必要である。まずは理事会のときに提供のお願いをする予定である。

7. 年次大会査読システム（資料 52-7-1，資料 52-7-2，資料 52-7-3）

八十島幹事から資料 52-7-1 の説明があった。また，事務局から資料の補足説明があった。

- オプションを活用すれば，現状のシステムとほぼ同様なことができるため大きな問題はない。
- 利用マニュアルはアトラスへ委託できるが，記述マニュアルは査読委員会などで用意する必要がある。
- システム変更に伴う経費削減は 200 万円程度である。
- Editorial Manager システムの詳細について，次回の委員会で実際の利用方法をアトラスから説明を受ける。

8. 次回日程

- 次回は 2012 年 12 月 18 日（火）14：00 から，JCI 会議室にて実施する。
- 年次大会の査読システムの詳細について，株式会社アトラスから説明を受ける。

以上